広報
さめがわ

第118号
昭和38年
9月10日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



壇の岡の拡張工事を前にして、教育委員会では、先史時代の遺跡発堀を初めました。鮫川高校生徒が、作業に協力していま す。



老令福祉年金を受けられるために役場を訪問された高令者の皆さん。

○　数百年の風雪にたえた大木には、おのずと頭のさがるような威厳を感ずるものです。世の辛酸にたえて、きたえられた高令者の顔にも、これに似た尊いものを感じます。社会の歴史、村の歩み、人生の哀歓を刻んだその姿に敬意を表しましょう。

○　おそろしい季節のお客様…台風の来ないのはよろこばしいが、気温はめつきり下つてきました。稲作にはもつと残暑のきびしさがほしいものです。

○　壇の岡の拡張工事や鮫中屋体の建設工事など、大きな事業がいよいよ初まります。御協力をお願いします。

9月の人口と世帯

人口	7.868	（＋1）
男	3.901	（＋7）
女	3.967	（＋3）
世帯数	1.253	（－2）

新らしい農業

これからの農作物管理

いよいよ農業にとつて恐ろしい台風の季節となつてきました。これからの農作物対策については次のことを励行しましょう。

一、農作物の台風対策について

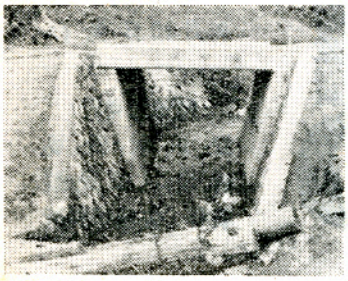
稲作—水路は水の通りを良くし、出来るだけ冠水を最少限にとどめ、泥水等の冠水があつた場合は泥を洗い流し、台風通過後は病害虫防除に万全を期しましょう。そ菜—畑の周囲は常に排水溝を堀つておき、台風後は速かに銅水銀剤等の薬剤撒布を励行する。この場合土砂の附着したものは噴霧器等で洗い流してから撒布しましょう。

二、農業技術対策について

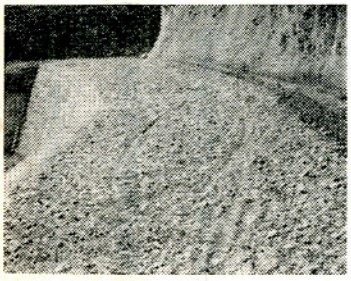
水稲の落水期は、気候、土質、品種、肥培管理等に依つて異るが、米粒の発育過程からみると大体穂揃後二十五日頃に行うのが良い様である。従つて、落水期が早すぎると穂稲熱病の発生が多くなり、登熟を妨げ屑米、シイナが多くなり、米質も低下する。又落水が遅れるとやはり減収するので適期に落水する様にしなければならない。水田によつては、一様にいかないが、湿田、及び半湿田などは早目に落水を開始し、なるべく排水溝を設けるとよい。排水が早く乾いて登熟が悪くなるような水田にあつては、いくらか遅目に落水する。なお二毛作にレンゲや飼料作物、麦などを栽培する場合は、稲刈り後すぐ作業出来るように立毛中から排水溝を設けて土が乾燥し易くしておくのがよい。

（産業課）

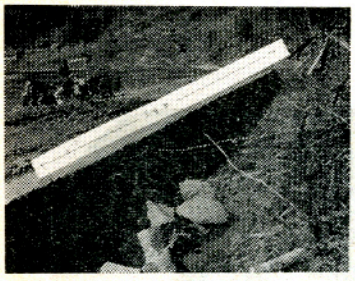
立派に出来た村道



昨年の水害で流れた中沢の土橋が鉄筋コンクリートの永久橋にかわりました。工費79万円。



大石草部落に入る村道の一部が災害で崩れましたが、工費60万円でこんなに立派に復旧しました。



名下地内の村道が大水で洗われ路面が欠かいしたので護岸の石積工事ができました。工費28万円。

バイクのナンバー切替

現在取付けてあるバイクのナンバーは、昭和35年以降交付しているもので、その当時取付けたものの中には、ナンバーがこわれたり、汚損しているものがあり、車体を交換して申告当時と相違したバイクを所有しているものもあるので、9月中に一斉に切替を行うことになりました。

なお、日時がきまれば組長さんを通じてお知らせしますから、バイク所有者は全員洩れなく切替されるようお願いします。

（税務課）



資源未利用の奥地に 林道の開発すすむ

農業構造改善のキメ手は国有林野の解放にあると言われているが、本村ではその日に備えて林道工事の開発を着々と進めている。

なかでも朝日山国有林道開発工事は青生野地内の赤小名より、奥地に巾員四〇米、延長一・七二〇米に及ぶ工事で工事費八六九八千円は、棚倉営林署による国営工事のため村と地元の負担がなく施行される。完成は十二月末の予定写真は林道関口田尻線の測量

（産業課）

給食用務員募集

次により、昭和三十八年度実施の学校給食について給食用務員を募集します。

1. 応募資格

満二十五才以上四十才までのもので身体強健にして思想堅実なもの、学歴は中学卒または同程度以上、本村の住民であること（昭和三十八年十月一日現在六ヶ月以上本村に居住しているもの）

2 待遇

月平均七千円乃至一万円程度を支給する。但し当分の間日給とする。

3 採用人員

二名

4 勤務条件及び業務内容

西野、西山各小学校給食業務勤務時間は原則として八時間とする。

5 応募手続

採用願書、健康診断書（精密検査のもの）履歴書を添え庶務課に提出のこと。

6 詮衡

期日は志願者に直接通知し面接を行ないます。

のびる土地改良事業

九月二日午前十時より、研修所に於て鮫川村土地改良区臨時総代会が開催され、本年度事業などを審議決定しました。

新規融資単独事業では富田地区（鍬木田八一一千円）東野地区（業貝二二三〇千円）の暗渠排水工事、青生野地区には区画整理工事約一千万円の工事が予定され、事業が急速に延びてきました。

昭和三十九年度に事業を行う予定の地区は早めに申込みをして下さい。

本年度のブルトザー使用申込は直接、又は総代に九月末日までにお願いします。

（土地改良区）

おめでた

八月出生

六日広畑芳賀早苗

おくやみ

八日広畑窪木敦

八日青生野新妻勝幸

九日青生野石井弘子

一〇日関ノ上中川西久男

一二日越虫菊地由美

八月死亡

四日本坂14藤田好一

七日青生野85柳沼トメ

9月納期の村税

固定資産税第2期分です。納期内に完納しましょう。

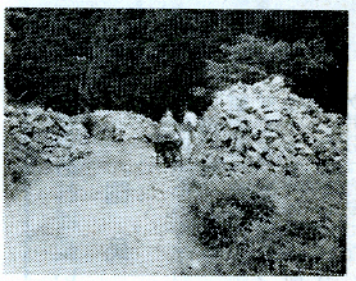
改良される道路
（失対作業現場から）



わが村では川の砂利がとれないので山の岩石を砕いて敷砂利にしますが新しい砕岩機で能率は数倍。



モッコをかついで運んだのは昔のこと、ベルトコンベアで運搬から積込みまで自動的にやります。



石井草の採石現場でとられた石の山、これが砕かれ運ばれて村道の線が次第に固まっていきます。

村政のうごき (2)

九月の行事

村長　石田卯子八

九月といえばまず二百十日前後の台風が気になりますが、今年はキレイに晴れたおだやかな二百十日をむかえ、稲作のためによろこびました。

長期予報では低温だ冷害だと心配させられたが、七月の葉イモチに悩まされたあとは、次第に回復して全国的には今年も豊作ということです。

しかし阿武隈山間地帯は日照も気温も十分とはいえませんから、穂首、枝梗イモチについては今後も警戒を要しましょう。

第二回目になる今年の青年会体育レクリエーション大会が一日に開かれました。

参加した青年諸君の数も前回よりは多く、村内の全分会が参加し、威勢のいいところを見せてくれました。

これからはレク行事なども多くとり入れ、にぎやかな、みんなでたのしめるものに育てたいものです。

それにしても村民運動場の整備が待たれます。

婦人会はこの日、中央婦人学級を開きましたが、午後は衆議院議員八田貞義先生の講演会を開催し、多数の聴講者がありました。

婦人会が中央の政治家を招いて講演会を開くということも、ひとつの成長といえるでしょう。

十五日「老人の日」には恒例の敬老会が村の公民館で開かれます。

今年は老人クラブの構成など組織的、継続的な行きかたを御相談したいと考えております。

二十五日には戦没者追悼式慰霊祭を予定しております。

今年は国でも戦後初めての戦没者追悼式を行ないました

この行事が単に遺族の方々だけのものでなく、戦没された尊い国家の功労者たちに、みんなで感謝し、遺族のみなさんとともにみんなで助け合いながら、よりすぐれた社会を作っていく動機にしたいものです。

国有林野の地元活用の問題が大分世論をにぎわすようになりました。国有林が山林面積のなかばを占めるわが村としては重大な関心事です。

農業基本法にいうところの選択的拡大をやるには、先づ生産基盤を拡大することが先決であります。

それにはわが村としては、国有林にその用地を求める以外に途はありません。

既設所属替地の完全活用をはかるとともに、この際農業構造改善事業用地として、担当面積の適地が売渡し、または貸付されることを熱望してやみません。

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」と古歌にありますが、残暑の中にもしのびよる秋の気配を感じます。

農繁期を前にして、一層健康に留意しましょう。

× × × ×

国保の窓

年に一人当り一回半・一二三八円
‖37年度の特別会計決算‖

昭和三十七年度の国保医療給付実績がこのほどまとまりました。

それによると、医療費は年年増えるとも減らないものです。

利用する人も毎年増え早期全快の傾向にあります。

昭和三十七年度の実績は、別表1の通り、前年度より約百万円多い八、五九〇、五一五円で、一ケ月平均約七一六千円の給付となっております一人当にして一、二三八円を全部に差上げた勘定になります。またどの位各人が医者にかかり、診療を受けたかという受診率は、一三五％即ち一人平均一回半弱となっております。一方大字別にみると受診率では中野が、一七三％以下西野、西山が高率を示しています。また、一件当りの給付の額からみると、青生野の一、五七一円で以下西山、東石の順で高額を示しました。

助産費、葬祭費の件数は、例年とほぼ同じであるが、昨年の十二月より、二千円の引上げに伴い支給額は増えています。

また、国保の医療給付の中で主にどんな病気が多いかの統計は、成人病と消化器系の疾患となっております。

成人病とは、高血圧、心臓病、ガンといった病気ですので、健康診断は常に自発的に受けるよう努めたいものです

病気になると仕事にならないことは勿論のこと、家計費に大きく響くし、家族の笑顔もみられません。

明るい家庭を築くには、早期発見、早期治療に心掛け、大事に至らないようにすることが大切です。

別表は大字別の給付実績表

（住　民　課）

区分 / 大字別	療養の給付 件数	療養の給付 給付額	療養費 件数	療養費 給付額	助産費 件数	助産費 給付額	葬祭費 件数	葬祭費 給付額	合計 件数	合計 給付額	受診率	1件当り給付額
	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	%	円
西野	1.479	1.283.084	21	11.879	25	36.000	10	12.000	1.535	1.342.963	143	875
西山	1.510	1.615.054	29	26.370	25	29.000	4	7.000	1.568	1.677.424	140	1070
中野	1.610	1.238.993	22	24.051	17	23.000	13	20.000	1.662	1.306.044	173	786
東石	2.066	1.932.227	28	35.624	32	38.000	15	23.000	2.141	2.028.851	135	948
富田	765	520.981	4	2.915	11	15.000	3	4.000	783	542.896	128	693
渡瀬	1.204	970.515	46	49.008	32	42.000	11	15.000	1.293	1.076.523	129	833
青生野	363	563.625	13	33.189	14	17.000	2	2.000	392	615.814	66	1571
計	8.997	8.124.479	163	183.036	156	200.000	58	83.000	9.374	8.590.515	135	916

告知版

壇の岡遺跡の発掘始まる

去る二十七年の拡張工事に縄文中期の敷石住居跡が発掘され、考古学界の話題になった壇の岡遺跡は、このたび行われる村民運動場の拡張工事にともない、新な遺跡発掘も予想されるので、県文化財調査員、藤田定市先生の指導により村内の中高校生百余名の協力を得て、七日より十日までの五日間にわたり発掘作業を行なうことになり、その成果が注目されています。

上の写真は前に発掘され復元された土器



麦の共済金一〇〇万円

本村に初めて発生し多きな被害をあたえた麦の赤カビ病による減収に対し共済金の仮渡しが行なわれます。

金額は評価額の三分の一にあたる一、〇二七、一二五円で、これは掛金の三十年分にあたる金額です。

（共済組合）

各校の運動会

村内各学校の秋の運動会は次の日程によって開かれます。

西野小…二十四日、鮫小…二十二日、富田小…二十六日、渡瀬小…十八日、青生野小…十九日

なお村内小中高校の連合運動会は十月四日に鮫小グランドで行われます。

北海道に農業実習

鮫高生二十八名

東白川農商高校鮫川分校では毎年夏期休業中に北海道の農業実習に生徒が参加しているが、本年は八月十日より九月四日までの二十六日間にわたり、江別市内の農家に分宿し大規模な農業経営の実情を働きながら学んできた。

下の写真は帰路に札幌市内を見学、テレビ塔下で記念撮影



青生野分会が初優勝

青年体育レク大会

九月一日に鮫小グランドで七分会百余名の若人が参加して開催され、毎年惜しいところで優勝を逃がしていた青生野分会が初優勝し二位は伝統ある東石分会、三位は富田分会の成績で大会を終了した。

各種目の優勝者は次のとおり。

▮男　子▮

八〇米（中目正）、四〇〇米（関根優）、一、五〇〇米（加藤憲治）、五、〇〇〇（佐川一郎）、走高跳（水越直一）走巾跳（和知俊一）、砲丸投（八代郁男）、三段跳（小池）スエーデンリレー、一位（青生野）二位（東石）

▮女　子▮

六〇米（蛭田邦子）、一〇〇米（長久保テル子）、走巾跳（岡部末子）、走高跳（岸美子）、砲丸投（平久江秋子）



四〇〇米リレー、一位（青生野）、二位（東石）写真は四〇〇米のゴール寸前、優勝の関根君



公平な課税に御協力下さい

現在の税制は申告制度になっているので、皆さんが申告したことがらを基礎にして課税する建前です。皆さんから正しい申告をしていただけば公平な課税が出来ます。まれに不正な申告があってそれを基礎としてそのまま課税すれば善良な納税者に申訳がないわけです。

そこで申告の適否を調査し、公平な課税資料を得るため、税務吏員は常に村内を巡廻して適正な課税資料を収集しておりますこの調査に必要ある場合は、皆さんにお尋ねしたり、又は帳簿書類や現物等を見せていただく事がありますので、その際は御協力下さるようお願いします。現在は乗用耕耘機の未申告、木材引取税の未申告、並びにこんにやくの作付状況などを調査しておりますのでよろしくお願いします。

備えあれば憂いなしの国民年金

国民年金の今年の第一期分（四、五、六月分）は七月納期であったが納入率は約七〇％です。未納になっている方は今月中に是非御都合の上納付して下さい。都合により三ケ月分は容易でない方は月分でも納付出来ますから、年金手帳持参の上区長又は役場へ納付して下さい。年末に一年分を納付するより、その都度納付するよう心がけましょう。

◎——◇——◇——

福祉年金の交付

七〇才以上の方に交付される老令福祉年金第一期分は九月六日交付されました。本年は前年に比し二十人増の三一五人で年額では約四二〇万円になります。

（住民課）

お知らせ

住宅統計調査

昭和三十五年国勢調査区の中から全国平均八分の一の割合で抽出された西山の二—一区（戸倉、発地岡、赤柴、菅田、菅ノ目、水口、田中）と青生野の二—一区（姿平、世々麦、大犬平の一部丸谷地の一部、菖蒲谷地）の二調査区について、九月二十四日より十月七日までの期間に、知事の任命を受けた調査員が、戸別にお伺いして、住宅事情の統計調査を行いますので正確な調査ができるよう御協力をお願いいたします。

尚、この調査は税金など統計以外の目的には決して使われませんし、秘密はかたく守られます。

（庶務課）

あとがき

▼心配された稲作も順調な天候がつづいて平年作にちかい収獲が予想されるようです。いちめん所によっては大きな被害を受けられた方もあるようですが、このような方は免税や保護の方法もありますので、遠慮なく役場の住民課に相談して下さい。

▼待望の村民運動場がいよいよ自衛隊の手によって着工されます。狭いグランドで悩んでいた青年諸君も思いきり運動のできる広場で、体育行事の悩みも解決されることでしょう。

▼奥地え開発の手は進んでいます。農業構造改善も私たちに見えないところで着々と進められているようです。奥地の開発だけでなく既耕地の整備も真剣に考えられるべきでしょう。新しく変りつつある農業に遅れないために。